

## 水管理と病害虫防除の励行で高品質な米に仕上げましょう！

### 「富富富」の生育概況

- ・昨年と比較して、草丈は長く、茎数は多く、葉色はやや濃くなっています。
- ・幼穂形成期は、5月8日田植えで7月8日頃と見られます。

表1 生育状況(7月8日現在)

	草丈(cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色
R1	63.1	487	11.5	4.1
H30	59.0	401	11.6	3.9

※JAなのはな管内 県生育調査ほ 5月15日田植え

## 1 穂肥

【分施肥培】幼穂形成期から7日後(幼穂長15mm程度)を確認し、穂肥を施用しましょう。

【肥効調節型基肥栽培】原則、追加穂肥は施用しないでください。

表2 分施肥栽培の穂肥時期と施用量の目安

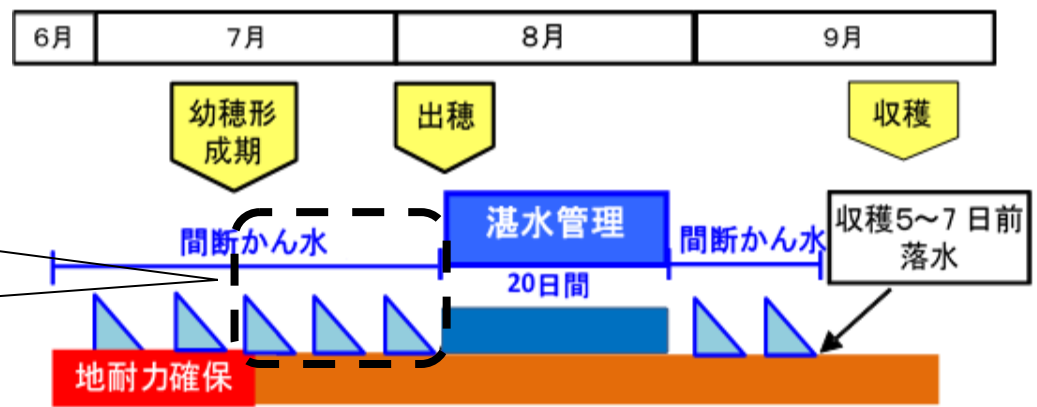
	1回目	2回目
	幼穂形成期の7日後 (7/15頃)	1回目の7日後 (7/22頃)
追肥3号	5~7 kg/10a	10 kg/10a

## 2 水管理

本年は、葉色の濃いほ場が多くなっています。  
幼穂形成期から出穂期までは、間断かん水を行い、過剰着粒にならないようにしましょう。  
また、出穂期から20日間は、湛水状態を保ちましょう。

※栽培マニュアルには「飽水管理」と書かれていますが、本年は葉色が濃いほ場が多いことから、幼穂形成期から出穂期まで「間断かん水」を行いましょう。

図1 水管理のイメージ



## 3 病害虫防除

病害虫防除は、コシヒカリに準じて実施しましょう。

生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるか、必ず確認してください。

表3 防除体系

体系	防除時期	薬剤名	成分数	使用量 (10a 当たり)	対象病害虫
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤 DL	2	4 kg	いもち病, カメムシ類, ウンカ類
	傾穂期	スタークル粉剤 DL	1	3 kg	カメムシ, ウンカ類
液剤	穂揃期	ラブサイドキラップフロアブル	2	希釈倍数 500 倍 使用液量 100ℓ	いもち病, カメムシ類, ウンカ類
	傾穂期	スタークル液剤 10	1	希釈倍数 1000 倍 使用液量 100ℓ	カメムシ, ウンカ類

## 4 漏生稲や異茎株の抜き取り

定期的にはほ場を見回り、漏生稲や異茎株を抜き取ってください。



漏生稲：条間に発生する株



稈の長短(抜き上がり)



熟期の異なる稲(出穂が早い)